

看護学部／看護学科	職名	准教授	氏名	古庄 夏香
-----------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

佐賀医科大学医学部看護学科卒業、大学病院・総合病院で臨床経験を積んだ後、佐賀大学（佐賀医科大学より名称変更）大学院医学系研究科看護学専攻修了、修士（看護学）。血液透析を受ける患者の看護に関する研究、看護師の実践知に関する研究、看護学生のリフレクションに関する研究、看護過程に関する研究を行っています。透析を受ける患者は近年高齢化してきており、それに伴い原疾患や既往歴も複雑化してきています。また、透析を行うことによっておこる様々な合併症により全身状態が悪化している場合や、体調不良により日常生活に支障をきたしていることもあり、QOLが低下している状態にあります。そのため、多職種が協働し介入を行うことで、患者の全身状態の改善や QOL の向上につながるのではないかと考え研究を行っています。現在、患者の QOL の向上を目的として透析を受けている患者を対象に九州歯科大学との共同研究を行っています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

②その他最近の業績

<学会発表>

- 古庄夏香、前田ひとみ、血液透析患者の口腔乾燥および衛生状態、栄養状態並びに健康関連 QOL の実態調査、第 40 回日本看護科学学会学術集会、オンライン開催、2020 年
- 清原智佳子、平塚淳子、古庄夏香、外来通院中のウイルス性肝炎患者の療養生活に対する思い、第 46 回日本看護研究学会学術集会、オンライン開催、2020 年

③過去の主要業績

- 古庄夏香、黒田裕子、安藤敬子、小田正枝、林みよこ、中木高夫、山勢博彰、柏木公一、伊藤美佐江、電子カルテ稼働中の施設における看護師の思考過程の分析、看護診断 13 巻 2 号、p.5～12、2008
- 編集者：小田正枝共著者：小田正枝、井出裕子、山勢博彰、藤野成美、伊東美佐江、小田日出子、焼山和憲、下舞紀美代、古川秀敏、宇佐美しおり、窪田恵子、穴井めぐみ、古庄夏香（執筆順）、事例でわかる看護理論を看護過程に生かす本、照林社、2008
- Kumi Uchiyama、Hiroko Kukihara、Natsuka Furusho、Meaning of an Amyotrophic Lateral Sclerosis Patient's and his Main Caretaker's Worldview in Home Care、International Nursing Care Research、11(2)、p.69～81、2012

3. 外部研究資金

科学研究費助成事業（基金分）（基盤研究(C))2019年度～2022年度） 交付金額 4,290 千円
研究課題「高齢血液透析患者の唾液分泌促進と口腔内衛生改善に向けた口腔ケアプログラムの開発」（研究代表）

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護学教育学会、日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本看護診断学会、日本腎不全看護学会、質的統合法研究会、日本がん看護学会

6. 担当授業科目

<学部>

成人看護学概論・1単位・2年・前期、成人慢性看護学・2単位・2年・後期、成人急性看護学・2単位・2年・後期、成人看護学演習Ⅰ・1単位・3年・前期、成人看護学演習Ⅱ・1単位・3年・前期、成人慢性看護学実習・3単位・3～4年・後前期、成人急性看護学実習・3単位・3～4年・後前期、専門看護学ゼミ・1単位・3年・通年、統合実習・2単位・4年・通年、卒業研究・1単位・4年生・通年、チーム医療論・1単位・2年・後期、教養演習・1単位・1年・前期

<大学院>

成人看護学特論・2単位・1年・前期、成人看護学演習・2単位・1年・後期

7. 社会貢献活動

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等